

令和3年度

三高探究の日 (GS フェスタ)

Review

主催：宮城県仙台第三高等学校

Miyagi Prefecture Sendai Daisan High School

Oct.20,2021



日 程

令和3年10月20日 (水)

時 程	内 容	会 場
9:40~10:10	開会行事	大講義室
10:30~12:20	2年理数科・2年普通科一部 英語スライド発表	大講義室・書道室
12:20~13:15	昼休み	
13:20~15:10	2年理数科・外部参加生徒による学校間交流 (Zoomによる日本語口頭発表)	大講義室・書道室
13:20~15:10	2年理数科・2年普通科 日本語ポスター発表	体育館・校舎各階廊下
15:20~15:40	閉会行事	大講義室

三高探究の日 (GS フェスタ) 2021 実施規模

発表者数

参加者総数：1132名

英語スライド発表 10題 88名

学校間交流 6校 8題 38名

ポスター発表 2校 104題 430名

WEB研究発表会 6校 79題 366名

(内訳) 来賓講師他校教員など 85名
 仙台三高生徒 958名
 山形東高生徒 14名
 三高職員 75名

(WEB内訳) 仙台三高 66題 318名
 多賀城高 4題 16名
 宮城一高 1題 4名
 仙台白百合学園高 2題 9名
 古川黎明高 3題 12名
 福井県立若狭高 3題 7名

※発表者数はのべ人数

◇ 開会行事



総合教育センター小野順子様



来校された運営指導委員の皆様

◎ ご来賓

総合教育センター 教育推進部 教職研修班 主幹 小野 順子
東北工業大学 特別顧問 宮城 光信
仙台城南高等学校 校長 中川西 剛
石巻市立桜坂高等学校 校長 熊谷 聡也

◎ 講師の先生方

東北大学大学院 工学研究科 電気エネルギーシステム 教授 安藤 晃
東北大学大学院 生命科学研究科 教授 渡辺 正夫 (Zoom 参加)
尚絅学院大学 特任教授 / 宮城教育大学 名誉教授 見上 一幸 (Zoom 参加)
宮城教育大学 名誉教授 石澤 公明
岩手大学 理工学部 教授 白井 誠之 (Zoom 参加)
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 特命上席研究員 富永 淳二 (Zoom 参加)
東北大学 グローバルラーニングセンター 特任教授 渡邊 由美子
株式会社バイタルネット 代表取締役社長 執行役員 一條 武 (WEB 発表会のみ)
東北大学 グローバルラーニングセンター 特任助教 林 聖太 (敬称略)

(敬称略)

◇ 英語ポスター発表

東北大学グローバルラーニングセンター (GLC) の留学生と県内の ALT, CIR 総勢39名の講師の方々に対して、英語によるスライド発表を行いました。研究内容を伝えるために表現方法を工夫して発表し、質疑応答では質問者の発言に耳を傾け、英語を用いて堂々とディスカッションをしていました。

講師の方々には来校しての参加と Zoom での参加の2通りの方法で参加しましたが、まるで1つの部屋にいるかのようにリアル・オンラインどちらも活発なディスカッションとなりました。

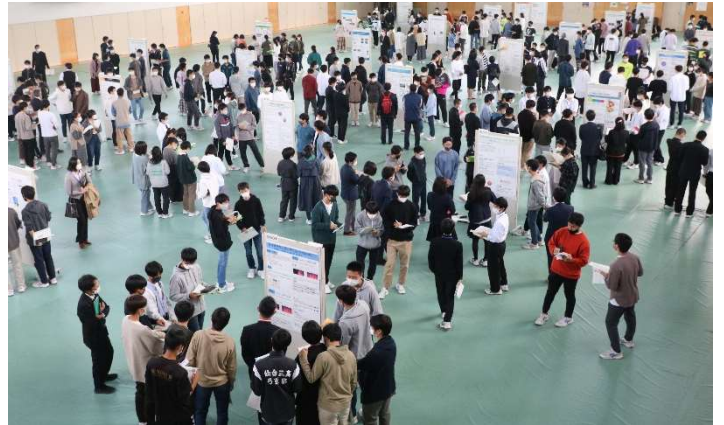


◇ ポスター発表

2年生全員が発表し、さまざまな分野が勢揃いしました。分野を超えて意見交換が行われる貴重な機会となりました。

会場は体育館に加え、校舎全体を用いることで、ソーシャルディスタンスを確保しました。

今回は山形東高校の生徒にお越しいただき、発表してもらいました。

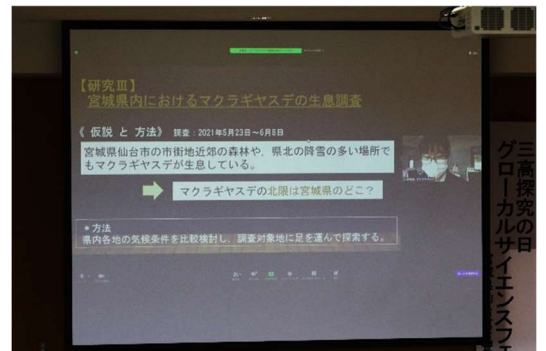


104 題のポスターが勢揃い



◇ 学校間交流（Zoomによる日本語口頭発表）

Zoom を活用し、2会場で三高・他5校による学校間交流を行いました。三高会場だけでなく、Zoom でつながった他校からも質問があり、別な場所にながらも活発な意見交換がなされました。

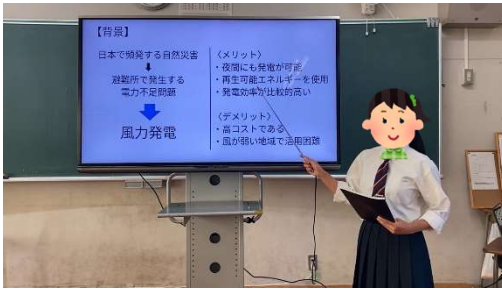


■ 発表題と発表校（8題，6校）

大講義室 助言者：渡辺正夫先生，渡邊由美子先生	書道室 助言者：見上一幸先生，渡邊由美子先生
『紅の研究 ～玉虫色に輝く紅づくりの“コツ” 教えます～』 仙台第三高等学校	『より遠くへ滑空する飛行機』 仙台第三高等学校
『マクラギヤステの生態調査 ～生息の北限と未知なる生態に迫る～』 多賀城高等学校	『将来の宇宙開発に伴う産業について』 (実習報告) 角田高等学校
『こしょくの原因は親だけにあるのか』 仙台白百合学園高等学校	『蜘蛛糸の紫外線による強度変化測定』 宮城第一高等学校
『国内産タナゴの保全に向けて』 仙台第三高等学校	『流星の分光観測による発光メカニズムの研究』 古川黎明高等学校

◇ WEB 研究発表会2021

昨年度に引き続き、WEB 研究発表会も同時開催しました。多くの学校に参加していただき、研究発表に対する感想やアドバイス等、たくさんのコメントをいただき、生徒たちは今後の研究の励みになりました。



本校の66題に加え、多賀城高校、宮城第一高校、仙台白百合学園高校、若狭高校、古川黎明高校の皆さんに参加していただきました。

生徒の感想

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまな研究テーマがあるグローバルサイエンスフェスタで自分の知らない新たな分野について触れることができ、学術的視野が広がり、将来大学で勉強する時や、研究するときのテーマ設定などに役立たせられるだろうと思った。 ○ 今年のGSフェスタでは去年、一昨年と比べじっくりと発表を見られたため色々な発見があった。特に私たちも行なったフードロスに関する研究からは、私たちが思い付かなかったような展望が見られた。私もこの発表から新たな知見を得られたので吸収をして大学での研究発表に活かしていきたいと考える。 ○ 今日のGSフェスタでは、様々な意見やポスターを見ることができた。山形東高校の方の発表が特に印象に残った。ポスターをただ読むだけでなく、聴衆の様子を見て語句の説明をしたり、質問にも全てしっかりと対応していた。これからの発表では、手本にしたい。 ○ 今回のGSフェスタは例年とは違い他校からも積極的な参加が見られた、県内でもこのような活動をしているのは三高だけな気がする。今回の活動を大学でも生かしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日のGSフェスタでは様々なポスターを見ることを通して自分の価値観を広げることが出来た気がする。皆さんの発表は十人十色でそれぞれ個性を強く読み取ることが出来た。そこには当然自分では考えもつかない発想や考え方が多くて様々な影響を受けた。この経験を大学に行っても活かしていきたい。 ○ 今日のGSフェスタでは様々なポスターを見ることを通して自分の価値観を広げることが出来た気がする。皆さんの発表は十人十色でそれぞれ個性を強く読み取ることが出来た。そこには当然自分では考えもつかない発想や考え方が多くて様々な影響を受けた。この経験を大学に行っても活かしていきたい。 ○ 後輩たちの多くの発表やポスターを見て自分たちとは違った視点から様々な事象にアプローチしていて、とても面白いものを見ることが出来た。また、山形から来ていた他校の高校生の発表もとても本格的だったため、いい刺激を受けた。大学生になったらより本格的で専門的な内容について深く探求していくことになると思うので、高校生活で学んだことを活かして行きたいと思う。 |
|---|---|